

JC NEWS

7月号

Vol.801

- 
- ・初老を祝う会
 - ・第74年度正副理事長予定者紹介
 - ・長崎JCを深堀る！

一般社団法人長崎青年会議所

今後のJCニュースに活かして
参ります！！アンケートのご回
答を宜しくお願い致します。



一般の方は
➡こちら



特別会員は
➡こちら



正会員は
➡こちら



仮入会員は
➡こちら

目次

<u>理事長挨拶</u>	 3 P
<u>厄入り清祓い</u>	 5 P
<u>6月例会</u>	 6 P
<u>第73年度 初老を祝う会</u>	 7 P
<u>長崎コンファレンス2025in佐世保</u>	 8 P
<u>大懇親会・LOMナイト</u>	 9 P
特集 <u>長崎JCを深掘る！</u>	10 P
<u>長崎市災害ボランティアセンター設置・運営訓練</u>	15 P
<u>JCI ASPAC2025</u>	16 P
<u>第74年度 正副理事長予定者紹介</u>	17 P
<u>九州コンファレンス2025in延岡</u>	18 P
<u>ナガサキミライ☆キッズの大冒険</u> <u>まなぶ！つくる！エコアドベンチャー</u>	19 P
<u>All Jayceesのご案内</u>	20 P

理事長挨拶



折返し地点 背中を示す

梅雨も明け、いよいよ本格的な

夏が到来しましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、第73年度も半年が過ぎようとしています。皆様は、ご家族や会社、先輩方、そしてメンバーに対して、敬意と感謝の気持ちを持って関わる事ができていますでしょうか。私達は、どのような場面においても、自分一人の力だけでなく、全てを成し遂げることはできません。慣れが生まれたら、驕りが出たりすると、人はつい自分に都合よく物事を考えてしまいがちです。しかし、私達は誰もが他者に支えられているという決意を、決して忘れては

なりません。そのことは、心で思っているだけでは不十分であり、言葉や行動など、あらゆる形で「表現」していく必要があります。折り返し地点に差ししかかった今だからこそ、これまでの活動を振り返るとともに、残りの期間においても本年度のスローガンをより強く意識し、取り組んでいただきたいと願っています。

6月上旬には、清祓いや初老を祝う会も無事に終了し、私自身、卒業が近づいていることを日々実感しています。今年、私もついに卒業を迎えます。そのような中で、JC活動・運動にどのような姿勢で臨み、それをいかに後輩に伝えていくかということについて、



改めて深く考えるようになった。理事長としての立場に限らず、長崎青年会議所に所属する一人ひとりが、役職に関係なくこの団体への誇りを持ち、自らの意思で積極的に取り組み続けることが、メンバー同士の繋がりを強め、未来の長崎JCの基盤を築くことに繋がると確信しています。言葉だけでは伝えきれない「空気感」をどう醸成し、どのように次代へと伝えていくかが重要です。そのためには、発する言葉はもちろん、「背中」で示す姿勢こそが最も大切であると感じています。

また、6月末には佐世保にて長崎コンファレンスが開催されました。私にとって、2019年に長崎ブロ

ック協議会で委員長を務めた経験は、JC人生のみならず、人生そのものにおける大きな分岐点となりました。あのときの「強烈な体験」があったからこそ、自分自身が変わるきっかけを掴むことができた実感しています。

長崎青年会議所内での活動も重要ですが、出向を通じて他地域のメンバーと出会い、試練を乗り越えて交流する中で得られる学びや気づきもまた、貴重な財産となります。人それぞれ、スィッチが入るきっかけやタイミングは異なります。だからこそ、あらゆるきっかけを自らの選択肢として捉え、後悔のないよう、全力で取り組んでいきましょう！

厄入り清祓い



6月6日(金)午前7時より、伊勢宮にて「厄入り清祓い」が執り行われました。本年度、厄年を迎えられる正会員8名と理事役員が参加し、「お殿様」の1年間のご健康とご多幸を祈念しました。ご卒業されるお殿様と理事役員がともに参加しました。朝の澄んだ空気の中でのご祈祷は、心身ともに清められ、気持ちも晴れやかになるひとときとなりました。厄入り清祓い後は、それぞれに分かれ、楽しい時間を過ごしました。



大村湾サーキット



伊王島でBBQ



6月例会



6月6日（金）、稲佐山観光ホテル曙の間にて第73年度6月例会が開催されました。今月はいつもより時間を短縮しての例会となりましたが、例会委員会の仮入会員による準備万端のセレモニーで開会し、理事長挨拶や委員会報告、出向者報告、必要な情報の共有をしっかりと行いました。時間に制約がある中でも、メンバー一人ひとりの協力のおかげで内容の充実した、引き締まった例会となりました。



一般社団法人 長崎青年会議所

第73年度 初老を祝う会



6月6日(金)、稲佐山観光ホテルにて、第73年度「初老を祝う会」が開催されました。本年、初老を迎えられた会員10名を祝して、現役会員と特別会員の先輩方が集い、初老会員の皆様を囲みながらお祝いの言葉や懐かしい思い出話に花を咲かせ、和やかなひとときを過ごしました。最後は恒例の「若い我等」を全員で肩を組んで歌い、笑顔と感謝に包まれる中、盛況のうちに閉会となりました。

初老を迎えられた皆様の、これからの青年会議所での活動が実り多きものとなり、最高の一年として締めくくられますことを心よりお祈り申し上げます。





6月28日(土)、29日(日)に「長崎コンファレンス2025 in 佐世保」が開催され、長崎JCからは72名が参加しました。公益社団法人日本青年会議所 長崎ブロック協議会 2025年度会長 兼元 博康君を先頭に「かがやけ長崎! FIFTY+ON!! ~地域の輝き、未来と平和へ~」をスローガンに掲げ、組織力の向上、地域の魅力発信、インバウンド促進、会員の自己成長、平和の継承について、各フォーラムを通じて、多くの学びや気づきを得ることができました。来年度の長崎コンファレンスは「諫早」で開催されます。



大懇親会・LOMナイト



日本一長い直線型アーケードとして知られる佐世保市・四ヶ町アーケードをジャックしての大懇親会では、各LOM対抗の佐世保バーガー早食い対決で大いに盛り上がり、他LOMの方々とも交流を深めることができました。

またLOMナイトでは、長期に渡り長崎コンファレンスの準備に携わり、当日の運営を担った25名の出向者へ会員から労いの言葉が送られました。更に仮入会員の紹介などでも盛り上がり、会場は笑いと拍手が絶えない温かい時間となりました。出向者の皆様、本当にお疲れ様でした。



長崎JCを深堀る！

長崎コンファレンスを終えて



平和推進グループ
担当副会長：浦川 翔平君



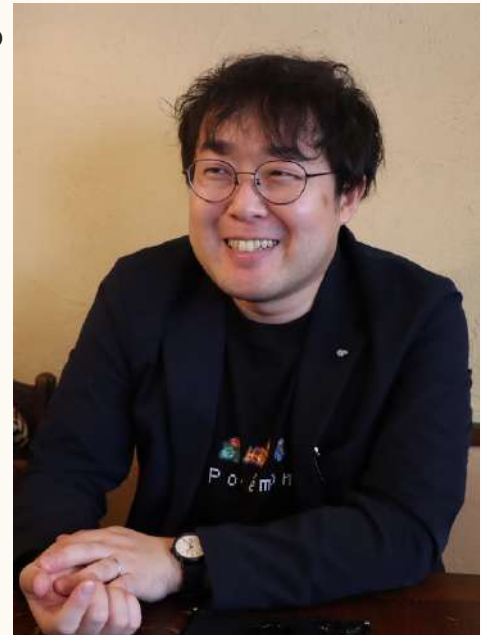
総務広報委員会
委員長：大辻 佑磨君

渉外広報委員会が事業構築の舞台裏や当事者の想いを深掘りする企画「長崎JCを深堀る！」。第6弾は、6月末に開催された「長崎コンファレンス2025in佐世保」でフォーラムを担当した浦川副会長、大辻委員長に焦点を当てます。県内の仲間が一堂に会する大舞台を支えた裏側、そして長崎ブロック協議会の魅力と、活動をとおして見えた課題、更に未来への想いを伺いました。

聞き手：深堀和政君

深堀：ブロック出向で大変だったことを教えてください。

大辻：ブロックは初対面同士が集まるから、最初は人間関係を作るのが大変でした。役職を長崎メンバーだけで固めても出向した意味が無いんで、他LOMの人に任せたくて、最終的に大村の方に決めました。メンバーは諫早、大村の方が多かったんで、委員会に少しでも参加しやすいように、諫早と大村でやりました。長崎は1回もしてないですね。遠方でも来てくれる長崎メンバーは本当に頼もしかった。感謝です。



深堀：委員長をやってみて、どうでした？ 苦労はありましたか？

大辻：最初は心配しかなかったですね。自分に委員長をやれるのか凄く悩みました…でも、声を掛けていただいたので、やると決めましたね！委員会メンバーに助けられてばかりで大きな挫折は無いんですが、コンファレンス1か月前の骨折ですかね。「やばい…ブロック出れないかも」って思いました。SNSもめっちゃめっちゃ更新してたんで、どうしようって。でも本間副委員長が本当に動いてくれて、取りまとめや資料作成を全部やってくれました。あの人、すごく上手いんですよ。正直、嫉妬してました(笑)



深堀：出向して楽しかったことを教えてください。



大辻：新しい出逢いが増えることが楽しいですね。ちょっと長崎を飛び出せば同じ志を持った仲間がいて繋がって、増えていくんです。元々ブロックに興味がなく、違う場所で集まりが増えるマイナスイメージがあったけど、行ってみたら本当に楽しいことばかりでした。

深堀：総務広報委員会は具体的にどんなことをしているんですか？

大辻：議事録作成、会議の設え、議案の取纏め、広報、各LOMの対外事業の発信、それからLOM支援も担いでした。LOMがまちづくりの最前線だとすれば、LOMとLOMを繋ぐ、連絡調整役ですね。LOMにいたらブロックが何をしているか分からないから、そこを広報として皆に知っていただきたいです。

深堀：担当されたフォーラム「選ばれる組織とは！？最強組織の引力の正体」では多くの学びがあり、全力じゃんけんなど盛り上がりも見せました。大辻委員長の中では100点満点中、何点ですか？



大辻：今回のフォーラムは、自分の中では90点かなって思ってます。残りの10点は、正直、自分の頑張りがまだまだ足りなかったなって感じですね。もっとできることは絶対あったし、もっと良いものにできたなって思ってます。後の方は、結局長崎の人達に助けてもらってばかりで、自分をもっと動けたらなって。あと、せっかくやるならもっと一般

の人にも来てもらって、JCって面白そうだなって思ってもらえるようにしたかったけど、そこがちょっとできなかったのが悔しいです。

深堀：最後に一言伝えたいことをお願いします。

大辻：当日は朝早い中、遠い佐世保まで、足を運んでいただきまして本当にありがとうございました。フォーラムで長崎メンバーばかりで、皆さんが応援してくれて本当に嬉しかったです。私自身まだ半年しか経ってないですけど、やってみないと見えない景色ってあります。だから出向して本当に良かったです。来年もし誰かに「委員長やってみない？」って言われたら、勇気出してやってみてほしいです。大変だけど、やったらやったでめっちゃくちゃ楽しいですよ。



深堀：長崎ブロックへ出向してどうでしたか？

浦川：まず、当日多くの長崎JCの皆様に来ていただき本当にありがとうございました。正直、ブロックはアレルギーがあったんですよ(笑)今まで長崎だけしか見てなかったんだけど、行ってみたら全然違ってた。めちゃくちゃ楽しかった。仲間が増えるし、他LOMにも知り合いができて、会議や懇親会にも気軽に行けるし。野球大会とかでも知り合いばかりなんで本当に楽しいですよ。



深堀：長崎JCとブロックの違いは感じましたか？

浦川：ブロックに出て、他の地域のLOMを見てみると考え方とか意識が全然違うんですね。7LOMを見て視野が広がりました。改めて長崎JCはレベルの高さと、時代に合わせて進化してる思ったけど、他LOMも古き良き文化を守ってるところもあって、そこから学べることも多かったです。出向して学んだことを長崎JCに還元するかってずっと考えています！



キャラバン時、バナナの被り物

深堀：副会長は何をするんですか？やって良かった事を教えて下さい。

浦川：副会長は、委員長が事業を進めるにあたっての調整役、役員同士の間を取り持つ役目ですね。ブロックの委員会は月に2回ぐらい各地で開催するんですが、来る人も固定化しがちなので、委員会をまとめるのが大変でした。それでも「なぜ来てもらわなきゃいけないのか」「なぜまとめるのか」を考えながらやったのはいい経験でした。そんな中、特に大辻くんは本当に成長を目の前で見れたことが嬉しかった。解団式の際に各理事長へ言葉に詰まりながらも「ありがとうございました」って素直に言ってる姿を見て、泣きそうでした。本人は緊張してるだけだったそうですが(笑)



深堀：平和の事業に込めた想いを教えてください。

浦川：実際、今回の平和事業は、奇しくも佐世保大空襲があった日と重なったんです。佐世保は、やはり軍港のまちとして発展してきた一方で、平和についても伝えていかないとけない。その“栄えてきた歴史”と“平和を訴えること”の間に、ねじれみたいなものが生まれるんですよね。だからこそ、あえて踏み込んでいく、チャレンジングな事業でした。ただ、場所の力だけに頼るんじゃないくて、そこに集まった人



達が「自分ごとだな」って思える時間の作り方をもっと工夫できたんじゃないかなって。平和って当たり前に大事だけど、どうしても遠い話になりがちなので、もう一步踏み込んで、心に引っかかるものを残せたら良かったなと反省しています。

深堀：事業を実施する上で、何を心がけてますか？

浦川：事業は、ただやるだけだと自己満足で終わっちゃうこともあるじゃないですか。でも、本当は「なんでこれをするのか」「これが誰のためになって、どんな変化を生むのか」という部分を参加する人にもしっかりと感じてもらわないと意味がないと思うんです。「自分ごと」にしてもらえる問いかけや仕掛けを、もっと増やしていきたい。参加者が自分の言葉で意見を言えたり、終わった後に「自分は何をしようか」とって考えられる場を作りたいですね。

それが“運動の本質”をちゃんと届けるっていうことだと思っています。だからこそ、若いメンバーには失敗を恐れずに、どんどん挑戦してほしい。意味のある失敗を繰り返す中で、本質を掴む感覚を一人ひとりに持ってほしいなって思ってます。



長崎市災害ボランティアセンター 設置・運営訓練



6月14日(土)、社会福祉法人長崎市社会福祉協議会の主管のもと、「長崎市災害ボランティアセンター設置・運営訓練」が開催されました。

この訓練では、災害発生時にセンターが円滑に立ち上げ・運営できるように、マニュアルに沿って流れを確認し、運営の手順を実際に体験することを目的としています。今回はセンター運営だけでなく、会場の設営や撤収など、準備段階からの実践的な訓練も行われました。参加者同士が声を掛け合いながら安全に配慮し、事故やケガなく設営を進めることができました。最後に、各グループごとに総評を行い、参加者同士で意見を交わす時間も設けられました。今回の訓練で得られた学びや気づきが、関係団体及び関係者の皆様との更なる連携強化につながることを期待しています。

JCI ASPAC 2025



色々な国の方々と
交流できる素晴らしい
機会です！



ASPAC（アスパック）は、4つのJCIエリア会議のなかで最も参加人数の多い、日本JCを含むアジア・太平洋地域全体の会議の通称です。本年度はモンゴル・ウランバートルの地にて開催されましたJCIモンゴルは日本JCがスポンサーNOMを務めるなど深い関係性があります。大会期間中は、JCI及びアジア太平洋地域各国の運動を知り、国際交流を楽しんでいただける絶好の機会となりました。ASPACは毎年アジアのどこかで開催されます。来年は新潟です。全国や世界のお友達（仲間）ができるチャンスでもあります。興味がある方は是非、参加してみてください♡



第74年度 正副理事長予定者紹介



投票用紙の束を種田
理事長(左)から受け
取る次年度理事長予
定者の寺澤君

7月7日(月)に執り行われた7月臨時総会にて、次年度理事長候補者の寺澤 孝憲君が全会一致で承認され、第74年度(2026年度)理事長予定者となりました。また専務理事、副理事長予定者が新任されました。

皆様のコメントは次号で特集します！
お楽しみに！

専務理事予定者



松本 考功君

副理事長予定者



桑原 亮君



土井 あかり君



池田 裕介君



前田 祐太郎君



西岡 英樹君



当麻 葵君

渉外広報委員会 楊 和樹君



九州コンファレンス

2025 in 延岡

想いを紡ぎ九州の未来へ

NEXUS

8月 23日(土) 24日(日)

**持続可能な社会に向けた
ビジネス戦略**

無料
登録費に会場費はかかりません

01 メインフォーラム (大ホール)
8.23 SAT 15:30~17:00
Remake Our Future
〜シゴトがミライにできること〜

02 グローバルフォーラム (大ホール)
8.23 SAT 11:30~13:00
海外への挑戦
〜世界のKYUSHUへ〜

丸山ゴンザレス氏
グローバルブース 13:00~17:00
大ホール前廊下にて開催中

九州ソーシャル
ビジネスEXPO 11:00~15:00
17階展示室2にて開催中

ご案内

「変わったな」と傍観
するのではなく、「私
たちが未来を変えた」
のだと感じていただけ
るフォーラムが開催さ
れます。また各地の事
業の表彰を聞くこと
で、これからの活動・
運動のヒントになるか
もしれません。

詳細は [コチラ](#)



7月1日(火)、公益社団法人日本
青年会議所九州地区協議会 2025
年度 会長 和田光平君が、九州コ
ンファレンス開催のご挨拶のため、
はるばる長崎までお越し下
さいました。



資源の大切さを学ぼう！
ナガサキミライ★キッズの

参加
無料

大冒険

まなぶ！つくる！エコアドベンチャー

個人創作



探求型ポリタンクで
ろ過キットづくり

個人創作



ソーラー帆船づくり

チーム創作



アート看板作り

チーム創作



アートベンチ作り

2025 07.26 SAT

①10:00～12:30 (小学生低学年向け50名)

②14:00～16:30 (小学生高学年向け50名)

受付時間

①9:30～9:50 ②13:30～13:50

場所

ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル
〒850-0931 長崎県長崎市南山手町1-18

留意事項

- ・定員になり次第、締め切ります。参加落選の通知は、メールまたはSMSにてご連絡致します。なお、電話番号は緊急時の連絡手段としてのみ使用します。
- ・服装は汚れても良い服装でご参加下さい。
- ・当日の様子をSNSに投稿するため、肖像権及び個人情報に関する同意書に承諾いただける方のみご参加いただけます。
- ・ホテル内駐車場は使用できませんので、近隣の駐車場もしくは公共交通機関を利用して、ご来場下さい。
- ・当日は個人創作を1つ、チーム創作を1つ行っていただきます。
- ・イベント冒頭に、保護者様向けにリサイクルに関する説明を約10分間予定しております。
- ・兄弟姉妹でご参加の場合は、同じ時間帯で体験いただけるよう、学年による厳密な区分は設けておりません。

当日は事前に洗った
ペットボトル(500ml)と蓋を
それぞれ1つずつ持ってきてね！



新しいものに生まれ変わるよ♪

申込締切日

07.13 SUN

お申し込みはこちら



お問合せ先



一般社団法人 長崎青年会議所
青少年育成委員会 委員長 長尾優輝
TEL:080-3169-0190

SNSアカウント



この夏、キミの「つくる力」と「ひらめき力」がめざめる！
個人創作×チーム創作で「自分だけの学びと発見」に出会える
冒険に、是非ご参加下さい！参加は先着順です！

2025年
10/31
Fri.



一般社団法人長崎青年会議所

第73年度

All Jaycees

日程：2025年10月31日(金)

場所：ホテルニュー長崎 鳳凰閣

対象：特別会員、正会員

お問い合わせ先：第73年度交流委員会 委員長 野口将司

☎090-7381-7568

来たる10月31日(金)、歴代の全会員が集う「All Jaycees」を10年ぶりに開催する運びとなりました！

詳細は今後、7月末を目処に決定事項をご案内させていただく予定です。特別会員の同窓会、会合などにキャラバンも実施しておりますので、日程の確保を宜しくお願い致します。

長崎JCとは



※クリックで紹介動画が見られます

長崎JCは1952年12月に発足し「明るい豊かな社会」の構築を念頭に置いて、我々の郷土長崎のみならず、長崎県、九州、日本、そして世界に貢献できる様々な事業を展開して参りました。

我々、長崎JCは「修練」「奉仕」「友情」という三信条のもと、20歳から40歳の青年達が次世代を担う地域のリーダーとなるべく、様々な研修やセミナーを重ねて、個人の資質を向上させ、地域社会に貢献できる人材の育成に努めております。

また、より良い長崎にする

ために奉仕の精神と郷土愛を胸に、活発な議論を交わし、知恵を出し合いながら「ひとづくり」「まちづくり」のための様々な事業を展開しております。そのような事業を通じて共に汗をかき、達成感を共有できるかけがえのない仲間を作ることができることも魅力のひとつです。

報恩謝徳

JUNIOR CHAMBER
INTERNATIONAL
NAGASAKI

2025

敬意と感謝を胸に

フォロー、登録をお願いします。

INSTAGRAM



FACEBOOK



X



YOUTUBE



長崎JCホームページ



会員名簿



新着情報

過去の
JCニュース